ほけんだより　11月

さいたま市立徳力小学校



「秋の日はつるべ落とし」と聞いたことはありますか。秋の日暮れが早いことを例えたことわざです。「つるべ」とは、昔、井戸から水をくみあげるために使った桶のことです。「つるべ落とし」とは、そのつるべを井戸の底へ一気に落とす様子をさします。秋の太陽が、あっという間に沈んで暗くなる様子をあらわしています。放課後、遊びに出かける時は帰りの時間に気をつけましょう。

～学校歯科巡回指導～

～歯みがき名人になって健康な歯肉をつくろう～

9月28日（月）に、5年生を対象に歯みがき指導を行いました。当日は、歯科衛生士の小池田幸子さんから「歯肉炎の予防」や「正しい歯のみがき方」について、わかりやすく教えていただきました。



歯垢染め出しの結果、５８％の児童にみがき残しがみられました。また、歯ブラシの交換が必要と思われたものが３３％ありました。この中には、毛先がひらいているもの、毛先が細すぎ・段カットのもの、ヘッドの部分が大きすぎるものがありました。１カ月に１回は歯ブラシを新しいものに取りかえましょう。保護者の皆様には、学校の歯ブラシを定期的に点検・交換してくださいますよう、お願いいたします。





児童の感想

○自分が、どれだけてきとうにみがいていたか、わかりました。
○歯肉炎があったけど、正しい歯みがきをしたらなおってきました。

保護者のコメント

○歯みがきの大切さに気づいてくれてよかったです。この気持ちをいつまでも持てるようにしてほしいです。
○自分からすすんで歯みがきをしていたので、これからも続けてほしいです。



～薬物乱用防止教室～

１０月２８日（水）に、埼玉県警察非行防止指導班「あおぞら」をお招きし、６年生を対象に「薬物乱用防止教室」が開催されました。覚せい剤や大麻などの薬物は、一回使うとやめられなくなる「依存性」があり、幻覚・幻聴・妄想を引き起こします。そして、放火・強盗・殺人・交通事故などを起こして、周りの人を傷つけてしまいます。

最近では、大麻の乱用が１０代２０代の若者の間で増加してきており、社会問題になっています。また、薬物の乱用は、法律で厳しく禁止されています。人から薬物をすすめられても、絶対に断る強い心を持ちましょう。



◎薬物犯罪から自分を守るために◎

①正しい知識を持つ。
（SNS等の間違った情報にだまされない）
②誘われてもはっきり断る。逃げる。
③ルールや決まりを守る生活を大切にする。



～傷病者発生時対応訓練～

突然のケガや病気で、救急車を呼ぶような場面に遭遇した時、傷病者を医療機関へ引きつぐまでの対応訓練を、年に３回、教職員で実施しています。１１月１０日（火）は、長距離走を想定した訓練を行いました。



指揮命令者の指示のもと、心肺蘇生、119番通報、保護者連絡など、組織的な対応ができることをめざしています。
これからも、適切な対応ができる危機管理体制の整備に努めていきます。

